

農業振興検討部会のアンケート実施結果

配送先 送付	一般市民向け (無作為抽出)	一般市民向け (消費者団体)	一般市民向け (老人大学)	農家向け	市政モニター
発送数	600 人	50 人	80 人	843 人	モニター数 (253 人)
実発送数	594 人 (6 通宛先なし)	31 人 (8/1 実施)	60 人 (9/1 実施)	838 人 (5 通宛先なし)	253 人
アンケート方法	郵送	会場配布	会場配布	郵送	メール発信
アンケート用紙	594 枚	31 枚	60 枚	838 枚	メール発信
アンケート作成	農政課	農政課	農政課	農政課	農政課
アンケート回収	農政課	農政課	農政課	農政課	市政情報課
回収数	281 枚 (47.3%)	31 枚 (100%)	60 枚 (100%)	594 枚 (70.9%)	206 枚 (81.4%)
回収数	372 枚 (54.3%)			594 枚 (70.9%)	206 枚 (81.4%)
集計結果集約	奈良女子大学の青木先生に依頼				農政課
結果発表場所	検討部会にて	検討部会にて	検討部会にて	検討部会にて	HP 上にて
お礼状 8 月 24 日発送	594 通	—	—	838 通	—

※一般向け・農家向け 8 月 10 日発送 (8 月 26 日期限)

※8 月 24 日に返送のお礼と未回答者への催促のはがきを送付

※市政モニターアンケート期間 平成 28 年 8 月 15 日～平成 28 年 8 月 28 日

「農業栽培の支援に関するアンケート」回答

資料2

問 1: 性別をお教えてください。該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問1: 性別		
	実数	割合
男性	159	42.9
女性	212	57.1
その他	0	0.0
未回答	0	0.0
合計	371	100

問:2 年齢をお教えてください。該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問2: 年齢		
	実数	割合
10～20代	16	4.3
30代	40	10.8
40代	54	14.6
50代	41	11.1
60代	90	24.3
70代	120	32.3
80代以上	8	2.2
不明	2	0.5
合計	371	100

問 3: 援農(農作業を無償で手助け・支援)について機会があれば参加する意欲はおもちですか
該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問3: 援農への参加意志		
	実数	割合
農業に関心があり援農を希望する。	10	2.7
機会があれば作業を手伝いたい。	114	30.7
手伝う意欲はない。	238	64.2
複数回答者	5	1.3
未回答	4	1.1
合計	371	100

以下の質問は問 3 で援農について参加の意思がある方を対象にお聞きします
 問 4: 農作業をお手伝いいただく場合は、どれくらいの頻度で支援が可能ですか
 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問4: 支援可能頻度	分母	
	実数	割合
恒常的・日常的に手伝いができる	3	2.4
時期や時間帯によるため事前の調整が必要	79	63.7
日曜や土日に限定されるため事前の調整が必要	27	21.8
その他	8	6.5
複数回答者	1	0.8
未回答	6	4.8
合計	124	100

問 5: 農作業をお手伝いいただく場合は、1 日のうち、どの程度の作用を希望されますか
 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問5: 1日のうちどの程度の作業	124	
	実数	割合
1日でもOK	9	7.3
半日程度	35	28.2
2~3時間	46	37.1
1~2時間	23	18.5
その他	4	3.2
複数回答者	2	1.6
未回答	5	4.0
合計	124	100

問 6: 現在、ご自身で栽培をされていますか。該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問6: 自身での栽培	124	
	実数	割合
栽培している	13	10.5
経験があり栽培についての知識や技術はある	8	6.5
経験はあるが知識や技術はない	37	29.8
未経験	58	46.8
複数回答者	5	4.0
未回答	3	2.4
合計	124	100

問 7:栽培の技術や知識を習得された機会はなんですか 該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問7:栽培技術や知識を習得した機会		21
	実数	割合
農家だから	1	3.8
親戚・知人が農家だから	1	3.8
貸農園、福祉農園で栽培を経験	8	30.8
農業栽培に関する講習経験がある	0	0.0
自宅や借地で栽培経験あり(前)	9	34.6
自宅や借地で栽培経験あり(今回)	5	19.2
体験農業に参加	1	3.8
その他	1	3.8
合計	26	100

問 8:栽培経験のある作物は何ですか 該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問8:栽培経験がある作物		問8:栽培経験がある作物			
	実数	割合			
米	2	0.7	じゃがいも	10	0.7
キャベツ	7	2.3	かぼちゃ	5	2.3
ブロッコリー	7	2.3	オクラ	13	2.3
カリフラワー	5	1.7	ずいき	1	1.7
レタス	9	3.0	若ごぼう	1	3.0
はくさい	8	2.6	サトイモ	6	2.6
水菜	7	2.3	たまねぎ	12	2.3
小松菜	7	2.3	にんじん	8	2.3
しろな	4	1.3	にんにく	5	1.3
菊菜	10	3.3	枝豆	4	3.3
ハウレン草	8	2.6	そらまめ	8	2.6
なたねな	2	0.7	三度豆	7	0.7
ベビーリーフ	2	0.7	えんどう	9	0.7
トマト	16	5.3	きぬさや	5	5.3
きゅうり	17	5.6	ネギ	11	5.6
なす	13	4.3	わけぎ	6	4.3
ピーマン	11	3.6	いちご	5	3.6
とうがらし	5	1.7	ぶどう	1	1.7
スイートコーン	2	0.7	いちじく	4	0.7
かぶら	5	1.7	みかん	3	1.7
大根	10	3.3	もも	0	3.3
ラディッシュ	6	2.0	キウイ	1	2.0
さつまいも	9	3.0	花	5	3.0
			合計	302	100

問 9:手伝っていただける作業はどんな作業ですか、可能な作業について、該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問9:手伝うことができる作		124
	実数	割合
耕運	16	4.8
田植え	15	4.5
種まき	44	13.3
草刈	57	17.3
稲刈り	14	4.2
水やり	57	17.3
収穫	69	20.9
荷揃え	53	16.1
その他	5	1.5
合計	330	100

問 10:農作業で機械操作できるものがあれば、該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問10:操作できるもの		124
	実数	割合
耕運機	10	23.3
トラクター	6	14.0
田植え機	3	7.0
稲刈り機	5	11.6
草刈機	14	32.6
その他	5	11.6
合計	43	100

問 11:農作業をお手伝いいただく場合は個人参加ですか、それともグループ・団体での参加になりますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問11:参加形態		124
	実数	割合
個人参加	76	61.3
個人でも複数でも	31	25.0
グループや団体	2	1.6
未回答	15	12.1
合計	124	100

問 12:手助けが欲しい農家と、手助けしたいグループの双方が情報を登録して、登録された情報をもとに連絡を取り合い、双方と一緒に農作業をするシステムがあれば、利用されますか
該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

	問12:農作業システムの必要性	
	実数	割合
利用する	66	53.2
使用しない	39	31.5
未回答	19	15.3
合計	124	100

「耕作実態調査」回答

資料3

問 1: このアンケートにご記入いただく方の性別をお教えてください。該当するところに☑を入れてください
(複数選択不可)

問1: 性別		
	実数	割合
男性	483	83.1
女性	98	16.9
その他	0	0.0
合計	581	100

問 2: このアンケートにご記入いただく方の年齢をお教えてください。該当するところに☑を入れてください
(複数選択不可)

問2: 年齢		
	実数	割合
10～20代	0	0.0
30代	3	0.5
40代	22	3.8
50代	87	15.0
60代	202	34.8
70代	162	27.9
80代以上	105	18.1
合計	581	100

問 3: 農地面積は何アールですか □に数字をご記入ください(1 アール=100 m²≒30 坪)

問3: 農地面積は何アールですか		
	実数	割合
1a以下	18	3.1
1a～5a以下	100	17.2
5a～10a以下	108	18.6
10a～20a以下	141	24.3
20a～50a以下	125	21.5
50a～100a以下	40	6.9
100a～150a以下	5	0.9
150a～200a以下	4	0.7
200a～	23	4.0
未回答	17	2.9
合計	581	100

581 人の面積
合計が 50000a
以上になって
いる
a (アール) の
集計となって
いないのでは

問4:現在、農地の何割で栽培されていますか □に栽培されている割合を数字(10~0)でご記入ください

問4:栽培面積の割合		
	実数	割合
1割未満	22	3.7
1割以上2割未満	9	1.5
2割以上3割未満	7	1.2
3割以上4割未満	7	1.2
4割以上5割未満	20	3.4
5割以上6割未満	22	3.7
6割以上7割未満	23	3.9
7割以上8割未満	44	7.4
8割以上9割未満	55	9.3
9割以上10割未満	40	6.7
10割	284	47.8
その他	61	10.3
合計	594	100.0

問5:農作業は日頃何人で作業していますか 該当する年代別の□に人数をご記入ください

問5:農作業年齢別(実数)						
	0人	1人	2人	3人	4人以上	空白
10代~20代	569	5	1	1	0	5
30代	546	24	7	0	0	4
40代	520	43	10	0	2	6
50代	466	90	20	1	2	2
60代	344	176	47	6	3	5
70代	386	137	45	3	5	5
80代以上	466	100	8	0	0	7
合計	3297	575	138	11	12	34

問6:耕作される上で、誰かに手助けを頼んでいますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問6:農作業で助けを頼んでいるか		
	実数	割合
頼んでいる	250	43.0
頼んでいない	318	54.7
未回答	13	2.2
合計	581	100

→頼んでいる場合は、誰に頼まれていますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問6: 頼んでいるのは誰か		
	実数	割合
親戚・知り合い等	191	71.8
農協	40	15.0
NPO法人、ボランティア団体	1	0.4
その他	34	12.8
合計	266	100

問 7:もし、農産物を栽培される上で、手助けをする仕組みや制度が利用できれば使いたいと考えますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)。

問7: 手助けする仕組みを利用したいか		
	実数	割合
利用したい	180	31.0
利用したいと思わない	370	63.8
未回答	31	5.2
合計	581	100

→利用したい場合は、手伝いに来られる方はどんな方であれば、利用されますか、該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問7: 誰にお願いしたいか		
	実数	割合
農作業をよく知っている人	120	49.4
経験はないが指示通りに作業す	87	35.8
経験のない大学生	17	7.0
何らかの障害があるが、ある程度	19	7.8
合計	243	100

問 8:手助けが欲しい作物は何ですか 該当するところに☑をご記入ください(複数選択可)

問8: 手助けが欲しい作物		
	実数	割合
米	148	43.7
野菜	141	41.6
花	27	8.0
いちじく、ぶどう等の果樹	17	5.0
その他	6	1.8
合計	339	100

問 9: 手伝ってほしい作業は何ですか 該当するところに☑をご記入ください(複数選択可)

問9: 手伝って欲しい作業		
	実数	割合
耕運	83	12.0
田植え	87	12.6
種まき・苗植え	54	7.8
草刈り・草ひき	160	23.2
水やり	67	9.7
稲刈り	105	15.2
収穫	87	12.6
荷揃え、包装、出荷作業	28	4.1
その他	19	2.8
合計	690	100

問 10: 将来、農業を引き継ぐ後継者はいますか 該当するところに☑を入れてください(複数選択不可)

問10: 現在の後継者の有無		
	実数	割合
現在、農業を継承している	80	13.8
農業を継ぐ意欲を持っている後継者がいる	163	28.1
後継者はいない(もしくは後継者はいるが継承してくれない)	298	51.3
未回答	40	6.9
合計	581	100

問 11: 後継者の有無にかかわらず、将来あなたの地域で農地の借り手・担い手があれば、農地を貸してもいいですか 該当するところに☑を入れてください(複数選択可)

問11: 農地を貸してもよいか		
	実数	割合
市民農園として運営が可能であれば検討する	115	17.5
農業に意欲ある担い手があれば貸してもいい	88	13.4
今のところは、貸す気持ちはない	337	51.2
将来的には農業はやめたい	118	17.9
合計	658	100

タイトル	農業就培の支援に関するアンケート
概要	現在、加齢・ケガ・病気等により定植・収穫・出荷時期等に農作業が困難になる農家が増加しています。その中で、農業に関心があり農家の支援をしたい市民・消費者が、有効に農家・農業を支援するシステムの構築により、生産者と市民・消費者が農に携わり、農地を守り、育てる施策が重要であると考えています。その施策の活用に向けて、無償による援農(農家が行う農作業を支援すること)に関する状況や思いを把握するためのアンケートです。

対象者数:253人 回答者数:206人 回答率:81.4%

1. 会員番号を入力してください。
(会員番号はメール本文に記載しています) (必須。3文字。半角英数(記号))

2. 性別を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
男性	67人	32.52%
女性	139人	67.48%


女性 67.5%
男性 32.5%



3. 年齢を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%
20代	13人	6.31%
30代	53人	25.73%
40代	61人	29.61%
50代	42人	20.39%
60代	24人	11.65%
70代以上	13人	6.31%

40代 29.6%
30代 25.7%
50代 20.4%
60代 11.7%
20代 6.3%
70代以上 6.3%



4. 援農に参加したいと思いますか。(必須)

回答	選択人数	%
農業に関心があり、参加したい	16人	7.77%
機会があれば参加したい	79人	38.35%
農業に関心があるが、参加はできない	75人	36.41%
参加したくない	36人	17.48%

機会があれば参加したい 38.4%
農業に関心があるが、参加はできない 36.4%
参加したくない 17.5%
農業に関心があり、参加したい 7.8%




援農について「参加したい」との回答が46.1%もあり、農業にかかわることに対して、多くの方に前向きな姿勢が感じられた。

5. 問4で「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」と回答された方に質問です。
援農について、どれくらいの頻度で参加が可能ですか。

回答	選択人数	%
恒常的・日常的に手伝いができる	1人	1.05%
時期や時間帯等によるため、事前の調整が必要	51人	53.68%
土曜や日曜等に限定されるため、事前の調整が必要	35人	36.84%
その他	5人	5.26%
未回答	3人	3.16%

時期や時間帯等によるため、事前の調整が必要 53.7%
土曜や日曜等に限定されるため、事前の調整が必要 36.8%
その他 5.3%
未回答 3.2%
恒常的・日常的に手伝いができる 1.1%

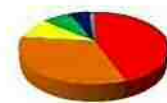


「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」と回答された95人中、90.5%の方が季節、時間、曜日などの何らかの制限を設けておられる。

6. 問4で「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」と回答された方に質問です。
援農について、1日あたりどれくらいの時間で作業が可能ですか。

回答	選択人数	%
1日	9人	9.47%
半日	31人	32.63%
2~3時間	42人	44.21%
1時間	7人	7.37%
その他	5人	5.26%
未回答	1人	1.05%

2~3時間 44.2%
半日 32.6%
1日 9.5%
1時間 7.4%
その他 5.3%
未回答 1.1%



「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」「参加したい等」と回答された95人中、1日が可能の方の割合より、半日、2~3時間を選ぶ割合が多く、農家さんの要望の聞き取りが必要。

7. 問4で「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」と回答された方に質問です。援農について、どのような種類の作業が可能ですか。(複数回答可) (14個以内)

回答	選択人数	%	
耕運(機械作業の補助)	21人	5.53%	上位 6項目のみ色分け表記 
田植え(機械作業の補助)	24人	6.32%	
種まき・苗植え	50人	13.16%	
草刈り・草ひき	33人	8.68%	
稲刈り(機械作業の補助)	16人	4.21%	
水やり	50人	13.16%	
収穫	59人	15.53%	
荷揃え・包装・出荷	53人	13.95%	
耕運機(機械作業)	12人	3.16%	
トラクター(機械作業)	18人	4.74%	
田植え機(機械作業)	14人	3.68%	
稲刈り機(機械作業)	12人	3.16%	
草刈り機(機械作業)	10人	2.63%	
その他	3人	0.79%	
未回答	5人	1.32%	

「農業に関心があり、参加したい」「機械があれば参加したい」と回答された95人中、多くの方が機械作業では無く、手作業で行う作業が可能であると回答されており、問6と同じように農家さんの要望の聞き取りが必要。

8. 問4で「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」と回答された方に質問です。援農について、個人かグループ・団体どちらでの参加になりますか。

回答	選択人数	%	
個人	68人	71.58%	
グループ・団体	6人	6.32%	
どちらでも	17人	17.89%	
未回答	4人	4.21%	

「農業に関心があり、参加したい」「機械があれば参加したい」と回答された95人中、89.5%が、「個人」又は「どちらでも」と答えておられ、作業内容によっては、複数の援農者を確保しなければならない。

9. 問4で「農業に関心があり、参加したい」「機会があれば参加したい」と回答された方に質問です。支援が必要な生産者と、農家の支援をしたい市民・消費者が情報を登録し、双方が連絡を取り合えるシステムがあれば利用しますか。

回答	選択人数	%	
利用する	82人	86.32%	
利用しない	9人	9.47%	
未回答	4人	4.21%	

援農を進めていくには、援農を手助けするシステムがあれば、86.3%の方が利用すると回答されています。

10. 問4で「農業に関心があるが、参加はできない」「参加したくない」と回答された方に質問です。参加できない、参加したくない理由を教えてください。(複数回答可) (4個以内)

回答	選択人数	%	
農業に関心がないから	15人	10.00%	
参加する時間がないから	57人	38.00%	
体力に自信がないから	43人	28.67%	
その他	17人	11.33%	
未回答	18人	12.00%	

「農業に関心があるが、参加はできない」「参加したくない」と回答された111人中、多くの方が、「参加する時間がない」「体力に自信がない」と回答されています。

11. 農業栽培の経験がありますか。(必須)

回答	選択人数	%	
農業栽培の経験があり、技術・知識がある	3人	1.46%	
農業栽培の経験があるが、技術・知識はない	46人	22.33%	
農業栽培の経験がない	157人	76.21%	

今回のアンケートでは、農業栽培の経験者が23.8%となり、4人に1人の割合であることがわかりました。

12. 問11で「農業栽培の経験があり、技術・知識がある」と回答された方に質問です。
 技術・知識を習得された機会はなんですか。(複数回答可) (8個以内)

回答	選択人数	%
家が農家である	1人	12.50%
親戚・知人が農家である	1人	12.50%
貸農園・福祉農園で経験したことがある	2人	25.00%
農業栽培に関する講習を受けたことがある	1人	12.50%
自宅や借地で経験したことがある(畝)	2人	25.00%
自宅や借地で経験したことがある(プランター)	1人	12.50%
体験農業に参加したことがある	0人	0%
その他	0人	0%

貸農園・福祉農園で経験したことがある 25.0%

自宅や借地で経験したことがある(畝) 25.0%

家が農家である 12.5%

親戚・知人が農家である 12.5%

農業栽培に関する講習を受けたことがある 12.5%

自宅や借地で経験したことがある(プランター) 12.5%

13. 問11で「農業栽培の経験があり、技術・知識がある」と回答された方に質問です。
 栽培経験のある作物はなんですか。(複数回答可) (47個以内)

回答	選択人数	%
米	0人	0%
キャベツ	2人	3.17%
ブロッコリー	2人	3.17%
カリフラワー	0人	0%
レタス	0人	0%
白菜	2人	3.17%
水菜	2人	3.17%
小松菜	2人	3.17%
シロ菜	1人	1.59%
菊菜	1人	1.59%
ホウレン草	2人	3.17%
菜種	0人	0%
ベビーリーフ	0人	0%
トマト	3人	4.76%
キュウリ	3人	4.76%
ナス	3人	4.76%
ピーマン	3人	4.76%
トウガラシ	2人	3.17%
スイートコーン	2人	3.17%
カブ	1人	1.59%
ダイコン	3人	4.76%
ラディッシュ	0人	0%
サツマイモ	3人	4.76%
ジャガイモ	3人	4.76%
カボチャ	0人	0%
オクラ	2人	3.17%
ずいき	0人	0%
若ごぼう	0人	0%
里芋	3人	4.76%
タマネギ	3人	4.76%
ニンジン	3人	4.76%
ニンニク	2人	3.17%
枝豆	1人	1.59%
ソラマメ	1人	1.59%
三度豆	0人	0%
エンドウマメ	2人	3.17%
キヌサヤ	1人	1.59%
ネギ	1人	1.59%
ワケギ	0人	0%
イチゴ	2人	3.17%
ブドウ	0人	0%
イチジク	0人	0%
ミカン	0人	0%
もも	0人	0%
キウイ	0人	0%
花	2人	3.17%
その他	0人	0%
未回答	0人	0%

トマト 4.8%

キュウリ 4.8%

ナス 4.8%

ピーマン 4.8%

ダイコン 4.8%

ジャガイモ 4.8%

上位 6品目のみ色分け表記

<p>14.「農業栽培の支援」についてご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。(1000文字以内)</p> <p>回答(一部要約・抜粋)</p> <p>回答者: 81人(39.32%) 未回答: 125人(60.67%)</p>
<p>農業従事者も高齢化になり人手不足が深刻な状態。若い世代に引継いでいかなければならない案件。まずは若い世代に興味を持ってもらうことが大事である。支援という形でいきなり農業に携わる事に抵抗はあるかも知れないが、まずは体験できる環境あればよいのではないか。</p>
<p>援農という言葉やニーズを初めて知ったのでなんの知識もないですが、農業高校や農学部などの学生が参加できるような、教育機関との連携はどうか一と思いました。</p>
<p>農業栽培の経験が無いので、具体的に何を手伝えるか分からないが、機会があればやってみたい。気軽に参加できるようなシステムなら、若い人や主婦も参加しやすいと思う。「支援」となると堅苦しいかも。</p>
<p>小学校高学年・中学・高校での授業にとり入れれば良いと思う。そうすればお米・野菜のありがたみがわかり、自分たちで育てたものは苦手なものでも食べてみようとするのではないのでしょうか。</p>
<p>無償で援農はなかなか難しいのでは？市が少しでも援農希望者に資金を支給すれば援農希望者が増えるのでは</p>
<p>生活環境の見直しで体を動かし汗をかき栽培の楽しみが子供から老人まで共有できる。自然の恵み農業栽培は大切な人生教育の起源となる様に思います。現代のインターネット検索からの実体験へと出来れば健康で魅力ある農業栽培の支援と成る様に思います。</p>
<p>市政だよりで呼びかけたらどうか。援農を必要としている実態も資料として載せないかと回答しにくい。全くのボランティアなのか、収穫物のおすそわけがあるのかなども。不親切なアンケートだ。</p>
<p>農業栽培の支援と言う言葉自体初めて知りました。こういう機会がなければ知らないままだと思うので、一般市民にも情報提供して知ってもらうことがまず必要ではないかと思えます。</p>
<p>とてもいい制度だと思います。農業に関心のある人は多いと思いますが、実際に個人の家で栽培ができる人は限られています。自転車を通えるくらいの距離に農家があれば助かるので、農家も支援者も同じ位たくさんの方の登録を望みます。作業が無償なのは構わないですが、とれた作物を少しだけ譲って頂ければ嬉しいです。援農システム実行の際には、そのようなギブアンドテイクの制度もきっちりとして置いてほしいです。</p>
<p>農業は、拘束時間が長く、つらい作業が多い仕事で、支援したくてもなかなか難しいのではないかと思います。ですので、定植から出荷まで一連の作業を行う方と、定植のみ、出荷のみという風に作業を分けて行う方に分ければ、多くの方に支援してもらいやすくなるのではないかと思います。</p>
<p>援農システムを構築する事は良いことと思いますが、無償ではシステムの維持・運営が困難だと思います。善意だけに頼るのではなく、双方の利益に繋がる方法が必要だと思います。</p>
<p>実家は兼業農家で、現在も実家と嫁ぎ先では畑で農作物は作っているため、農業がいかに大変で生半可な気持ちで出来るものではないと思っています。なので無償ボランティアとするものではないと思います。収穫出来た物で支払うとかにしようかと考えています。</p>

援農には賛成だが、行政が生産者と市民・消費者の間に立って、使いやすいシステムを構築する必要があるのではと考えます。無償だけでは参加しにくい部分もあるので、作った作物を貰えるような仕組みも取り入れたらよいのではとの意見にはこれから考えていかなければならないと思います。

【総括】

多くの市民の方々が、援農だけでなく、農業全体について興味を持たれていることがわかりました。何らかの形で農業に参加したいとの思いが伝わってきました。東大阪市の農業従事者も、他の産業と同じかそれ以上に高齢化となっています。このままでは、田畑を持っていても、農作物の栽培が出来にくくなっています。今回のアンケート結果を元に、これからの東大阪市の都市農業のあり方について、考えていきたいと思えます。

※「%」は小数点第3位を切り捨てしているので、合計値に+/-0.1%の誤差が生じる場合があります。